



リス



リスのなかまは、森林などにすむからだの小さな動物です。(1)などを食べます。

リスには、シマリスなどのように、(2)種類や、エゾリスなどのように、(3)冬の間も活動する種類がいます。

シマリス



エゾリス



+プラスワン

冬眠するほ乳類には、シマリスのほかにヤマネやコウモリなどがいます。これらの動物は冬眠している間体温を気温近くまで下げてからだのはたらきを低下させるため、春になり暖かくなるまで目を覚ましません。

ヤマネは森林にすみ、昆虫や植物を食べます。おもに夜間に活動します。

ヤマネ



ネズミ



ネズミのなかまにはたくさんの種類がいて、草原や森林、人家などいろいろな場所にすみます。(4)や(5)などいろいろなものを食べます。

クマネズミ



サル

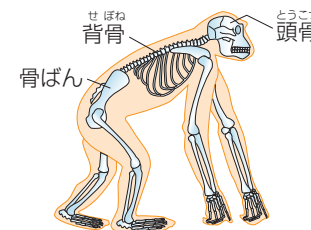


サルのなかまは、森林で木の上などにすみます。世界中にたくさんの種類がいますが、日本に生息しているのは「ニホンザル」です。ニホンザルは山で(6)をつくって生活し、(7)や(8)などいろいろなものを食べる(9)です。

ニホンザルは(10)、冬の間も活動します。

サルの骨格はヒトと似ていますが、(11)のあしで歩くためヒトより(12)が小さく、手をよく使うため手の骨がしっかりしています。また、うしろあしの足首から先の骨が発達しており、ものをつかむことができます。

ニホンザル



タヌキ



タヌキは、森林にすみ、魚や昆虫など(13)や(14)などいろいろなものを食べる(15)です。おもに(16)に活動します。

+プラスワン

タヌキは人間がすみ所に近い場所にもすんでおり、人間が出した食べ物の残りや、畑の作物を食べにくることがあります。



+プラスワン

タヌキと似たすがたのアライグマは、ペットとして外国から日本に持ちこまれ、マンガースはハブ(毒をもつヘビ)を退治するために、外国から沖縄に持ちこまれて山にすみつきました。これらの外来種は、もともと山にすんでいた動物を食べしてしまうなどして生き物の数のつり合いをこわしてしまうため、問題となっています。

アライグマ



マンガース



イヌ



イヌは、昔から人間に飼育されてきたとても身近な動物です。イヌはもともと(17)ですが、植物を食べることもあります。



ネコ



ネコは、昔から人間に飼育されてきたとても身近な動物です。ネコは(26)なので消化管は短く、体長の(27)ほどです。



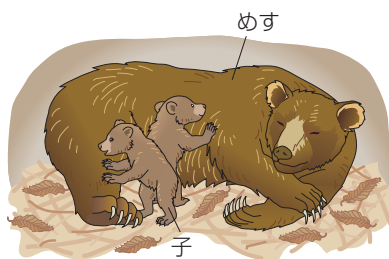
クマ



クマのなかまの多くは(18)にすみ、(19)や(20)、(21)などを食べる(22)です。クマの中でも、ホッキョクグマは(23)の近くの陸地や氷の上にすみ、魚やアザラシなどを食べます。日本にすむクマは2種類です。北海道にはヒグマが、本州から四国にはツキノワグマがすんでいます。

クマは(24)します。ただし、あまり体温が下がらず眠っているのと近い状態であるため、わずかな音でも目覚めます。「冬ごもり」ともいいます。

めすのクマは冬眠中に子を産み、何も食べずに子に(25)をあたえて育てます。



+プラスワン

クマのなかまは、受精してから受精卵が着床するまでに時間がかかり、着床してから受精卵が成長する期間が短くなっています。そのため、小さな子を産みます。

クマのなかまのパンダは、からだに白色の毛と黒色の毛の特ちょう的な模様がありますが、うまれたばかりのとても小さな子は毛が生えておらず、ピンク色をしています。

パンダ



コウモリ

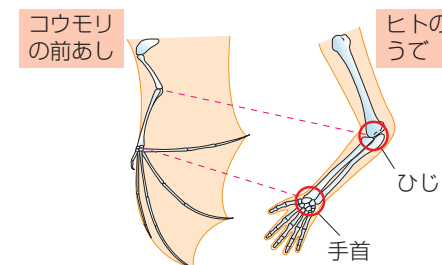


コウモリのなかまは、森林などで樹木の穴にすんだり、どうくつにすんだりしています。人間のすむ建物にすみついていることもあります。おもに(28)に活動します。

コウモリは種類によって(29)や(30)などいろいろなものを食べます。また、コウモリは(31)します。

コウモリの前あしは(32)のようになっているため、空を飛ぶことができます。

コウモリは(33)（人間には聞こえない高い音）を出してえものを探します。



コウモリは空を飛ぶことができますが、ほ乳類なのです。鳥類とまちがえないように、入試問題では注意するのですぞ。